

日本油化学会 東海支部 油化学セミナー

—リパーゼ・ホスホリパーゼによる脂質の改質—

リパーゼ・ホスホリパーゼは、多くの生物細胞で脂質の代謝に関与していると同時に、主体である分解反応に加えて逆反応であるエステル合成にも働くことから、近年は新たな機能を発現する脂質の合成や改質にも積極的に応用されております。そこで、本年の日本油化学会 東海支部油化学セミナーでは「リパーゼ・ホスホリパーゼによる脂質の改質」をテーマに3名の講師をお招きし、基礎から最新の応用までをご講演頂きます。油化学分野の方はもちろん、これらの最先端の分野にご関心をお持ちのより多くの方にご活用頂ければ幸いです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

主催：公益社団法人 日本油化学会 東海支部

協賛：日本化学会、色材協会中部支部、東海化学工業会、愛知工研協会、公益財団法人名古屋産業振興公社、高分子学会東海支部、化学工学会東海支部

日時：平成26年 6月27日（金）

場所：名古屋工業大学

名古屋市昭和区御器所町 電話052-735-5000

[交通] JR東海 鶴舞駅より徒歩7分、地下鉄鶴舞線 鶴舞駅より徒歩10分、
地下鉄桜通線 吹上駅より徒歩10分

プログラム（演題・講師・内容）

13:30～14:30

1. 「リパーゼの性質とそれを利用した機能性脂質の製造・精製」

地方独立行政法人大阪市立工業研究所 生物・生活材料研究部 研究主任 永尾 寿浩 氏
リパーゼは、油脂のエステル結合に作用する酵素で、産業的に様々な用途に利用されている。本講演では、リパーゼの立体構造、およびこの酵素が持つ様々な基質特異性（脂肪酸特異性、位置特異性、疎水度に依存した特異性など）について紹介するとともに、その性質を利用した機能性脂質の製造や精製の手法および製品化事例についても紹介する。

14:45～15:45

2. 「有機溶媒耐性リパーゼの開発」

大阪府立大学 大学院 工学研究科 教授 荻野 博康 氏

難水溶性化合物を基質とする酵素反応や加水分解酵素を用いて脱水縮合反応を触媒する場合、反応溶液に有機溶媒を添加することが多い。しかし、多くの酵素は有機溶媒存在下での安定性が低く、有機溶媒存在下でも高い活性と安定性を有する有機溶媒耐性酵素の開発に取り組んでいる。本講演では、有機溶媒耐性リパーゼの取得や有機溶媒耐性リパーゼの有機溶媒耐性の原因について紹介する。

16:00~17:00

3. 「放線菌ホスホリパーゼDの改変とリン脂質合成への応用」

名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授 岩崎 雄吾 氏

ホスホリパーゼD (PLD) のホスファチジル基転移反応により様々な極性基をもつリン脂質を酵素的に合成できる。放線菌由来 PLD はその広い基質特異性ゆえに広く用いられてきたが、天然リン脂質の一種であるホスファチジリンイノシトール (PI) の合成はできなかった。筆者らは蛋白質工学的手法を用いて元来 PI 合成活性を持たない放線菌 PLD に同活性を付与する事に成功した。本講演では PI 合成型 PLD の開発とその応用に関する研究成果を紹介する。

参加費： 本会正会員 5,000 円、本会法人会員・協賛団体会員 6,000 円、
会員外 10,000 円、学生 500 円 (テキスト代含む)

定員： 100 名

申込方法： 下記申込書に記入の上、郵送または FAX でお申し込み下さい。

または、Web ページ <http://www.c-goudou.org/enquete/cgi-bin/form.cgi?id=044>
からもお申込みが出来ます。

参加費は振込または当日ご持参下さい。

申込締切： 平成 26 年 6 月 20 日 (金)

申込先： 〒460-0011 名古屋市中区大須一丁目 35-18 中部科学技術センター内
日本油化学会 東海支部 TEL 052-231-3070 FAX 052-204-1469

振込先： みずほ銀行名古屋支店普通預金口座 No. 1103542 公益社団法人日本油化学会東海支部

Fax : 052-204-1469

平成 26 年 月 日

日本油化学会 東海支部 油化学セミナー 2014 (平成 26 年 6 月 27 日開催) 参加申込書

氏名		所属 ○印	正会員 法人会員 協賛団体会員 学生 会員外
勤務先 所属・部署			
連絡先	〒 TEL : () - FAX : () - E-mail :		

(備考) 銀行振り込みをされる方は、振込予定日をお書き下さい [予定日： 月 日]